

いなみ野 工事だより



No.11

令和7年4月18日発行
いなみ野特別支援学校

春休み中の第1次解体撤去工事

新しい学年・教室になって1週間が経ちました。少しは慣れてきたかな？友だちや先生の名前は覚えたかな？

春は学校にとって大きな変化がある時期です。卒業生の進路が決まったり、在校生は進級。先生たちは転勤があって、お世話になった先生が退職されたり、ほかの学校に行かれたり・・・でも、1年生をはじめ新しい友だちにも会えます。今年は転入生も5人ありました。たくさんの新しい先生も来られました。

春休みはそんな大きな変化を受け入れるための準備の時期です。先生たちは毎日バタバタ・・・この春休みは工事もかなり進みました。「地震？」「雷？」と顔を見合わせたくなるような大きな音や振動。電話がかかってきてもほとんど聞こえないし、会議室では反対側に座っている先生の話声すら聞こえず、同じ教室なのにマイクを使って話をしたり・・・授業が始まるとできない大きな工事を行っていました。おかげで、順調に進んで、すっかり旧校舎の形はなくなってしまいました。

新しい校舎を建てるために、この後、整地作業に入ります。



体育館の跡は深くまで掘り起こされていました。



左端には仮設校舎が見えています。



B棟のあった跡です。



中庭もすっかり工事の材料置き場に